

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		雇用促進対策事業						予算事業名		雇用促進対策事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				05	01	01	2001	経常経費								
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業						
		活力と創造力を育む商工業の振興								重点事業						
		活力ある地域産業の振興						担当課係等		商工観光課						
						企業立地推進室										
事業期間		継続 (平成27年度～ 年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
市内企業が優秀な人材を確保でき、企業業績や市民所得が向上し、地域経済が活性化、税収の増加と若者をはじめとする労働人口層が定住化する。							高校生への調査によると、「住み続けたい」または「いつかは戻りたい」との声があるものの、市内及び近隣に希望する進学・就職先がないため、東京圏への流出が避けられない状況にある。									
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】									
・ 高校等と市内企業との就職情報交換会 ・ 企業PR事業 ・ 雇用促進対策セミナー ・ 高校生を対象とした職場見学バスツアー ・ ウェブサイト「結城で働く」の運営 ・ 企業説明会 ・ 「はたちのつどい」での市内企業パンフレットの配布 ・ 新事業の開拓 (進出企業への支援、新たな雇用の発掘)							市内企業、高等学校等、関係機関									
							【事業をとりまく環境の変化】									
							人口減少・少子化が進むなか、進学や就職などで一旦市外に出てもいつかは戻りたいと考えている若者も多いことから、こうした若者が持てる能力を発揮できる職場を確保することが必要である。また、企業にとっては、そのような若者を雇用したいと考えているが、情報が入手できないことなどによる人材不足が見受けられることから、企業と若者を結びつける雇用のマッチングが必要である。									
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】								
・ 高校等と市内企業との就職情報交換会 ・ 企業PR事業 ・ 雇用促進対策セミナー ・ 高校生を対象とした職場見学バスツアー ・ ウェブサイト「結城で働く」の運営 ・ 企業説明会 ・ 新事業の実施、開拓				・ 高校等と市内企業との就職情報交換会 ・ 企業PR事業 ・ 雇用促進対策セミナー ・ 高校生を対象とした職場見学バスツアー ・ ウェブサイト「結城で働く」の運営 ・ 企業説明会 ・ 新事業の実施、開拓				・ 高校等と市内企業との就職情報交換会 ・ 企業PR事業 ・ 雇用促進対策セミナー ・ 高校生を対象とした職場見学バスツアー ・ ウェブサイト「結城で働く」の運営 ・ 企業説明会 ・ 新事業の実施、開拓								
■事業費																
				R05年度		R06年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	192	340									
歳入計 (千円)				192		340										
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)				金額 (千円)		金額 (千円)									
	07	報償費			50		50									
	10	需用費			98		240									
	11	役務費			5		10									
	13	使用料及び賃借料			39		40									
歳出計 (千円) (A)				192		340										
伸び率 (%)						77.08										
備考																

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	高校等と市内企業との就職情報交換会	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	高校生を対象とした職場見学バスツアーの開催	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	就職情報交換会参加企業数	社	目標	35.00	35.00	35.00
			実績	31.00	0.00	0.00
	職場見学バスツアー参加企業数	社	目標	20.00	20.00	20.00
			実績	23.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	首都圏への若者の流出抑制、市内企業の人材不足の緩和のため必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が主体となり、ハローワーク等関係機関と連携し実施している。
	手段の妥当性	A 妥当である	合同で開催することにより情報交換の場として妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	最低限の人員、コストで実施している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内企業の確保に向け広く情報を提供をしている、また市内に及び近隣の高校等にも情報を提供し受益は市民全般に及ぶため偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
令和6年5月現在、ハローワーク筑西管内の有効求人倍率は1.17、新規求人倍率1.67であり依然として売り手市場である。情報交換会や職場見学バスツアーは企業、学校を結びつける事業として好評を得ており、改善を図りながら継続して実施していく。また、既卒者や中間採用等も視野に入れた検討をしていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市内企業の採用担当者や高校等の進路指導担当者の意見を基に事業の改善を図るまた、ハローワーク等の労働部局、近隣市町村との意見交換を行い、事業連携を検討する。 現在は、高校新卒者を対象とした取り組みが中心で、既卒者、大学や短大及び専門学校への進学者やU I J ターン希望者への取り組みが不足しているため、この様な求職者への支援事業を検討していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 高校生への就職支援については十分な対策が実施され、市内立地企業へのアフターフォローには大切なソフト事業である。また、高校生における絶対数の減少及び進学者の増加に対応するため、進学や就職により、市外に出られた市民等を対象としたU・Jターンを促進するための就職説明会の開催や支援制度の設置を考えていく必要がある。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	